

〔远程课程的体验感想④〕

学完远程课的人，寄来了很多体验谈稿件。这次，集中了一些非常有价值的体验谈，从中选出了三人的体会稿介绍给各位。此次，三人的体验谈不光是学习日语，还有如何为了达到自己的目标而奋斗的心得。

在体验谈之后还附加对远程课程的说明，请阅读。



(原文为中国语)

● “有压力才能进步”

回日本时，我带来了许多日语参考书和教科书。自以为本人有自学能力，然而，十多年过去了还是一点不会。那是由于自己懒惰，没有给自己压力的缘故。

五年前开始参加远程课的学习，到现在为止，学习了很多课程。开始学习的时候，我是按着中心寄来的学习进程表学习的。每天听录音了做作业了，努力地学习着。虽然与别人比日语水平还很低，但与自己以前比还是有很大进步。

参加远程课程学习，对于我来说是给自己一种压力。有压力才能进步。

吉井正子女士（医疗学科修了）

〔遠隔学習課程完走体験談④〕

遠隔学習課程を完走された方たちからたくさん完走体験談が寄せられています。今回も実感のこもった素晴らしいお話が集まりましたが、その中から3人の体験談をご紹介します。今回の3つのお話は日本語の学習だけでなく、何かを達成するための心構えとして、すべてに通じる考え方だと感じます。

体験談の後に遠隔課程の説明を加えましたので、そちらもご覧下さい。

げんぶん ちゅうごくご
(原文は中国語)

● 「プレッシャーが必要」

日本に帰国したとき、日本語の参考書や教科書をたくさん持って帰ってきました。私は独学でやっていけるという自信がありました。しかし、10数年が過ぎても少しも日本語ができませんでした。それは私に怠け癖があったのと、プレッシャーがなかったからです。

5年前、初めて遠隔課程を受講しました。今までいろいろなコースを受講しました。コースを始めるときにセンターから送られてくるプログラムの学習進度に従って、毎日音声教材を聞いたり課題をこなしたりして勉強してきました。他の人に比べれば私の日本語のレベルはたいしたことはありませんが、自分ではとても進歩したなと思います。

遠隔課程を受講することは、私にとって自分にプレッシャーを与えることです。進歩するにはプレッシャーが必要であると思います。吉井正子さん（医療コース修了）

● “不学不行，不用更不行”

对归国者来说，学得多，多用。学得少，少用。不够用，再学。不学不行，不用更不行。尤其是六十岁以上的人，年龄大，记忆力差。唯一的办法就是，为了用，坚持学，反复学，直到会用为止。

村上茂先生（医疗学科修了）

● “不浪费仅有的时间”

学习是需要时间的，每个人的情况不同，所使用的时间也各不相同。我已经过了七十岁，身体又不太好，每天还得照顾四岁的孙子。喂他吃饭，哄他睡觉，还得哄他玩儿，又的去幼儿园接送，为此没有集中的时间，只能利用闲暇时间。在坐电车时，在公园看孙子时，或者晚上孙子睡觉时，别人休息时等等，抓紧时间挤时间利用时间学习日语。

黒川剛先生

（续・入门日语语法句型A 学科修了）
（Y）



● 「^{まな}学ばないことは^{いちばん}一番よくない。もっとよくないことは勉強したことを^{つか}使わないことだ」

日本語の学習では、勉強して覚えたらそれを^{つか}使わなければならない。たくさん勉強すれば、たくさん使える。^{すこ}少ししか勉強しなかったら、少ししか使えない。勉強し足りないと思ったら、また勉強する。学ばないのは一番よくない。もっとよくないのは勉強したことを使わないことだ。

私のように記憶力^{きおくりよく}が衰えてしまった60歳^{さい}を過ぎた者^{もの}にとって、使えるようになるための唯一^{ゆいいつ}の方法^{ほうほう}は繰り返し^く学習^{かえ}し続けることだ。

^{むらかみしげろ}村上茂さん（医療コース修了）

● 「^{かぎ}限られた時間^{じかん}を無駄^{むだ}にしない」

学習には時間が必要ですが、人によって^{じょうきよう}状況^{こと}は異なるので、勉強に使える時間はさまざまです。私は70歳^こを超えたので、^{からだ}体の具合もよくありませんが、毎日4歳^{まいにち}の孫^{まご}の子守^{こもり}をしなければなりません。ご飯^{はん}を食べさせる、寝^ねかせる、遊^{あそ}ばせる、保育園^{ほいくえん}の送り^{おく}迎え^{むか}をするなど全て私^{わたし}が面倒^{めんどう}を見ています。だから、まとまった時間^{じかん}がとれず、勉強時間^{べんきょうじかん}は少ししかありません。電車^{でんしゃ}に乗っているとき、公園^{こうえん}で孫^{まご}を見ているとき、夜^{よる}、孫^{ねしず}が寝静^{ねしず}まった後^{のち}、他^{ほか}の家族^{かぞく}が休^{やす}んでいる時^{とき}など、時間^{じかん}の隙間^{すきま}を見つけて勉強^{べんきょう}しています。限^{かぎ}られた時間^{じかん}を無駄^{むだ}にしないよう大^{たい}切^{せつ}にしています。

^{くろかわかたし}黒川剛さん

^{ぞくにゅうもん}（续 入门日本語 A コース修了）
（Y）

何谓“远程课程”？

1. 无论身在日本的什么地方，都可以学习日语

所谓“远程课程”，指的是原则上在自己家中就能够完成的“通信教学”。因此，无论您住在哪儿，都可以进行这样的学习。

学员将会收到中心寄来的学科教材，以及习题。等您做完习题之后，通过邮递等方式将其寄回中心。学科的负责老师会对您作的“习题”进行批改，并将批改完的习题回寄到您的手中。通过这样一来一往的学习，可以帮助您认识到自身的学习成果以及不足之处，同时还可以帮您把握学习要点。

2. 可以根据个人的步调来安排符合各人需要的日语学习内容

由于工作繁忙而无暇去日语学习班的人，可以在各自的空闲时间内，按照自身的步调来安排学习内容。另外，对于那些报名参加日语学习班，然而却因为每个人的日语水平参差不齐；或是学习要求不尽相同而感到和别人在一起学得很痛苦，并为此想打退堂鼓的人，“远程课程”可以让每一个人都根据自身的日语水平及学习要求来选择课程，并在力所能及的范围内完成学习内容。

3. 想什么时候学日语就什么时候学日语

想必您一定有过这样的时期：刚刚来到日本，不得不为自己的生活打基础；或者是整天忙于抚养子女等等想学习日语也抽不出时间的时期。当您走完这一过程，生活安定了下来；或是家庭环境有了好转等各方面条件都趋于完善并意欲学习日语时，“远程课程”可以让您想什么时候学就什么时候学。远程课程随时都在招生每月24日是翌月开学的新学员报名截止日期。

如此这般，“远程课程”旨在成为一座平台，承载并帮助那些学习环境及条件各不相同的归国者，让他们想什么时候学日语就什么时

「遠隔学習課程」とは？

1. 日本のどこにいても日本語学習ができる

「遠隔学習課程」とは、基本的には家で自学自習する「通信教育」のことです。したがって、日本のどこに住んでいても受講することができます。

受講者にはセンターから、コースの教材と学習した成果をセンターの講師に見てもらうための「課題」が送られて来ます。「課題」をやり終えたら郵便等でセンターに送ります。担当講師が送られてきた「課題」を添削し、返送します。このやりとりを通じて自分の学習の成果や弱点、復習のポイントなどを把握することができます。

2. 自分のペースで自分のニーズに合った日本語学習が進められる

仕事等で多忙なために教室に通えない人が、空いた時間に自分のペースで学習を進めることができます。また、教室で日本語レベルや学習ニーズの違う人と一緒に学習しなければならないことに苦痛を感じ学習が続けられない人も、遠隔課程では、誰もが自分のレベルやニーズにあったコースを選び、無理なく学ぶことができます。

3. 日本語学習を始めたいときに、いつでも始められる

来日直後の生活基盤を作らねばならない時期や、子育てに追われる時期など、日本語学習をしたくてもできない時期があると思います。その後、生活の安定や家庭環境の変化などで条件が整い、日本語学習を始めたいと思い立ったとき、いつでも始められます。遠隔課程は常時応募を受け付けており、毎月24日が翌月開始生の締め切りです。

このように、遠隔課程は、様々な学習環

候学日语。现在，远程课程虽然已经开设出20个学科，可是由于归国者的年龄及社会身份各不相同，因此可以说他们对于日语学习的要求也不会是大一统的。今后，我们还将继续致力于满足每一个归国者的不同需求，不断地使远程课程得以充实和完善。

■ [有关“远程课程”的几个比较常见的疑问]

Q 1. 要在规定期间内学完课程内容，这让人感到挺有压力的…。

别担心。您可以用您自身所需要的时间来学习。虽然一门课程的标准学习期间规定为六个月（部分课程为三个月），可是最长的学习期间为一年（三个月课程的最长学习期间为六个月），要是您觉得一年的时间仍然有些不够的话，可以提交申请继续延长学习期间。因此，请您别着急，您可以按照自己的步调来安排学习。

Q 2. 一个人自学，感觉很没有信心…。

当您开始进行远程课程的学习以后，每一门课都会为您安排一名负责老师。无论哪门课程，您都将与负责老师就习题大约进行四至六次书信往来。邮寄到您手头的习题里，会有老师的批改及留言。若是有什么地方不明白，您还可以通过邮寄、电话或者传真等通信手段，向中心提问咨询。在有的地区，一个月还会有一次面授指导。所以，您在学习远程课程的时候，中心的负责老师以及面授老师们一定会陪伴您坚持下去，为您的学习出力加油，因此您绝不会成为形单影只的一个人。 (B)



境や条件を持つ帰国者が日本語学習したいと思ったとき、いつでもどこでも始められるように、その受け皿になることを目指しています。現在、遠隔課程は20種類のコースが開設されていますが、帰国者といってもその年代、社会的立場も様々です。それぞれに必要な日本語は一樣ではないでしょう。その多岐にわたるニーズに答えられるように、今後もコースの充実を図っていきたいと思っています。

■ 「遠隔学習課程」へのよくあるご相談

Q 1. 決まった期間で終わらなきゃいけないのは、プレッシャーなのですが…。

大丈夫です。自分に必要なだけの時間をかけることができます。一応、1コースの学習期間は標準6ヶ月（一部3ヶ月コース有り）で、最長1年間の学習期間（3ヶ月コースは最長6ヶ月間）がありますが、これでも短い場合は、申し出て継続することもできますので、焦らず、自分のペースで進めることができます。

Q 2. 一人で学習を進めるのは自信がないんですが…。

受講を開始すると、コース毎にあなたの担当の先生が決まります。この担当講師との間で1コース、大体4回から6回程度の「課題」をやりとりします。返送された課題には、先生の添削やコメントが付きまします。わからない点については、郵便、電話、FAX等でセンターへ問い合わせることもできます。地域によっては月一回程度の「スクーリング」（対面での指導）を受けられる場合もあります。あなたの学習には、センターの担当講師やスクーリング講師など必ず伴走者がいて、あなたの学習を応援しているので、一人ではありません。(B)